

- 新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ -

愛媛県内において、6月11日時点で報告された新型コロナウイルスの感染者は82名となっています。息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合や、重症化しやすい方(高齢者や妊婦、基礎疾患等のある方)で発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合、それ以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合は「帰国者・接触者相談センター(089-909-3483)」に連絡してください。県民の皆様には、①うつらないよう自己防衛! ②うつさないよう周りに配慮! ③県外の外出注意と3密回避!を心がけるようお願いいたします。詳しくは、県ホームページ(<https://www.pref.ehime.jp/h25500/kansen/covid19.html>)をご確認ください。

発生動向の概況

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、第22週1.5人、第23週1.4人と横ばいに推移しています。地域別にみると、中予保健所でやや多い状態です。感染予防のため、外出後のうがい、手洗いを励行しましょう。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、第22週2.1人から第23週3.1人と増加しました。感染予防のため、調理・食事の前、トイレの後は液体せっけんと流水で十分に手を洗いましょう。また、患者の嘔吐物やふん便を処理する際は、使い捨てのガウン(エプロン)、手袋、マスクを着用しましょう。

日本紅斑熱の届出が1例(宇和島保健所管内在住)ありました。この疾患は、マダニが媒介する感染症で、早期に適切な治療を受けることが極めて重要です。野山に出かけた後に発熱や発疹などの症状が出たら、速やかに医療機関を受診しましょう。野山や畑、草むらなどに入る場合は、肌が露出しない服装(長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴、帽子、手袋等の着用)を心がけ、マダニに効果のある防虫スプレー(ディート含有)を使用するなど、マダニに咬まれないよう十分注意しましょう。また、野山等での作業後は入浴し、付着したダニを洗い流しましょう。咬まれていた場合は、無理に引き抜こうとせず、医療機関(皮膚科等)で処置してもらいましょう。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症

- 二類感染症 : 結核 10例
- 四類感染症 : 日本紅斑熱 1例(70歳代男性) レジオネラ症 1例(60歳代男性)
- 五類感染症 : 梅毒 2例(20歳代男性、20歳代女性、2020年県内累計26例)
- 指定感染症 : 新型コロナウイルス感染症 2例(50歳代女性、70歳代女性)

*その他、第21週分として腸管出血性大腸菌感染症[三類感染症]1例(O103:20歳代女性)、クロイツフェルト・ヤコブ病[五類感染症]1例(孤発性プリオン病古典型:60歳代男性)、新型コロナウイルス感染症3例(70歳代男性1例、80歳代女性2例)の届出がありました。

定点把握感染症(数字は最新週の定点当たり報告数)

疾病名	愛媛県推移	県内の傾向
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡ 1.4	横ばい。中予保健所でやや多い。
感染性胃腸炎	➡ 3.1	増加。
突発性発しん	➡ 1.0	増加。

解析評価委員のコメントから

- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 : [東予] 減少。たまにみられます。 [中予] 横ばいです。 [南予] 少数発生しています。
- 感染性胃腸炎 : [東予] 減少。軽症が多いですが、まだ少しみられます。 [中予] 横ばいです。 [南予] 続けて発生しており前週より増加傾向です。
- 突発性発しん : [東予] たまにみられます。 [中予] 横ばいです。 [南予] 少数発生しています。

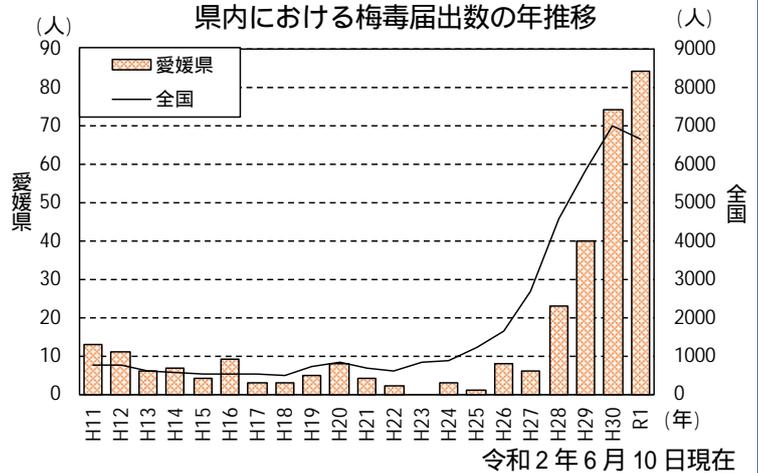
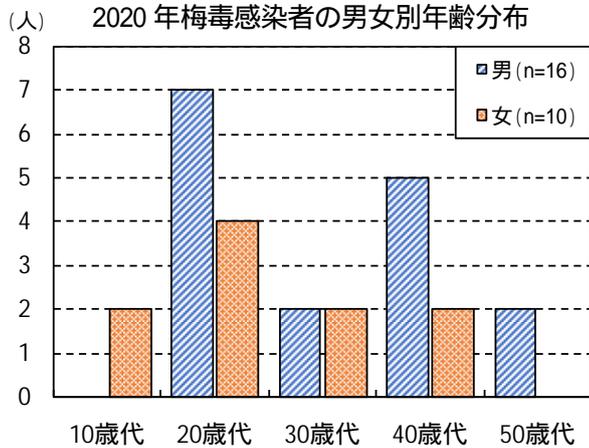
過去30週の動向 (➡ : 過去30週の動向、➡ : 過去10年の平均)



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所単位での集計で、患者の住所によるものではありません。感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.lg.jp までお願い致します。

- 愛媛県内における梅毒の発生状況 -

2020年の県内の届出数は26例となり、感染症法が施行された1999年以降最多となった昨年と同程度のペースで推移しています。そのうち、無症状病原体保有者は8例(31%)、早期顕症梅毒(Ⅰ期)は13例(50%)、早期顕症梅毒(Ⅱ期)は5例(19%)でした。性別内訳は、男性が16例(62%)、女性が10例(38%)で、男性の割合が多く占めています。男性の年齢分布は、20歳代7例、30歳代2例、40歳代5例、50歳代2例となり、20歳代及び40歳代で75%を占めており、女性は10歳代2例、20歳代4例、30歳代2例、40歳代2例となり、比較的若い年代に多くみられます。



令和2年6月10日現在

病原体検出情報

令和2年6月9日現在

過去5週で新たに検出された定点把握疾患に係る病原体はありません。病原体定点からの検体が少ない状況は続いておりますが、現在、第23週に今治で採取された手足口病患者検体等を検査中です。

月別病原体検出結果

検体採取月		2019		2020					合計
検出病原体		12	1	2	3	4	5		
ウイルス	コクサッキーA16	3	2					5	
	インフルAH1pdm09	32	28	11	1			72	
	インフルAH3		1					1	
	インフルB(ビクトリア)		3	1				4	
	アストロ				2			2	
	ノロ	1	1	1				3	
	アデノ	1			1			2	
	アデノ3	2						2	
アデノ54	1						1		
ウイルス計		40	35	13	4			92	
細菌	A群溶レン菌		2	1	1			4	
	細菌計		2	1	1			4	

臨床診断別検出結果(2020年3月以降採取検体)

検出病原体	インフルエンザ	A群溶レン菌咽頭炎	感染性胃腸炎	合計
インフルAH1pdm09	1			1
アストロ			2	2
アデノ			1	1
ウイルス計	1		3	4
A群溶レン菌		1		1
細菌計		1		1

注) 表中の検出数は6月9日集計分であり、その後の検出結果は次号以降に反映されます。
咽頭ぬぐい液にはうがい液・鼻汁・鼻腔ぬぐい液等を含んでいます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2020年 第23週 (2020.6.1 ~ 6.7)

	インフルエンザ定点			小児科定点										眼科定点		基幹定点										
	1)			RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2)		3)		4)		1)			
	インフルエンザ	迅速検査A型	迅速検査B型														ロタウイルス胃腸炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎			インフルエンザ(入院)		
患者報告数																										
保健所別	四国中央					2	14				1	2					-	-								四国中央
	西条			2		8	32		1			8		1				4								西条
	今治					9	4		1	2	7						2								今治	
	松山市					2	13	38		1	1	7					1		-	-	-	-	-	-		松山市
	中予						16	7				5		1						1						中予
週推移	八幡浜					1	8				6														八幡浜	
	宇和島					2	10				1														宇和島	
	愛媛県					4	51	113		3	4	36		2	1	6		1							愛媛県	
	1週前					2	54	78	2	1	3	28		3		9										1週前
2週前					1	30	58	1		4	24		2		8		1								2週前	
3週前					2	52	76	6		7	21	1	2		8										3週前	
年齢別	0-5ヶ月																									0
	6-11ヶ月					1	1	11			1	10														1-4
	1					1	3	11		2		21														5-9
	2					1	1	3				4														10-14
	3						6	6			1															15-19
	4						5	7		1		1														20-24
	5					1	7	3						1												25-29
	6						4	11																		30-34
	7						7	7				1														35-39
	8						4	5								1										40-44
	9						2	5				1														45-49
	10-14						7	30						1												50-54
	15-19						1	4																		55-59
	20-29 ⁵⁾						3	10								1										60-64
30-39															1										65-69	
40-49														1	2					1					70-	
50-59																										
60-69																										
70-79 ⁶⁾															1											
80-																										

定点当たり報告数

保健所別	四国中央	-	-		.7	4.7		.3	.7				-	-											四国中央	
	西条	-	-	.3	1.3	5.3		.2	1.3		.2			4.0											西条	
	今治	-	-		1.8	.8		.2	.4	1.4					2.0										今治	
	松山市	-	-	.2	1.2	3.5		.1	.1	.6				.3		-	-	-	-	-	-	-	-	-		松山市
	中予	-	-		4.0	1.8				1.3		.3					1.0									中予
愛媛県	八幡浜	-	-		.3	2.0				1.5															八幡浜	
	宇和島	-	-		.5	2.5				.3															宇和島	
愛媛県	-	-	.1	1.4	3.1		.1	.1	1.0		.1	.1	.8		.2										愛媛県	

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。
 2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。
 3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。
 4) オウム病を除く。
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。
 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。
 *インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計(A型・B型の合計数は必ずしも患者数と一致しませんのでご注意ください)。

(参考) 保健所別定点数

定 点	数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	中 予	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7	
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4	
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1	
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1	

注) 表中の報告数は6月10日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症（月報） 2020年5月

患者報告数		STD定点									基幹定点							
		性器クラミジア感染症			性感器ヘルペスウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症				メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	
		総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性					
保健所別	四国中央	2		2									5				四国中央	
	西条																西条	
	今治	2	2		1	1							1				今治	
	松山市	4	3	1							1	1		-	-	-	松山市	
月推移	中予												2				中予	
	八幡浜											1	1				八幡浜	
	宇和島													3			宇和島	
	愛媛県	8	5	3	1	1				2	2		11				愛媛県	
年齢別	0																0	
	1-4																1-4	
	5-9																5-9	
	10-14																10-14	
年齢別	15-19																15-19	
	20-24	1	1							1	1		1				20-24	
	25-29	3	2	1													25-29	
	30-34	1		1						1	1		1				30-34	
	35-39	2	1	1	1	1											35-39	
	40-44	1	1														40-44	
	45-49																45-49	
	50-54																50-54	
	55-59													1				55-59
	60-64													1				60-64
	65-69																	65-69
	70-													7				70-

定点当たり報告数

保健所別	四国中央	2.0		2.0									5.0				四国中央
	西条																西条
	今治	2.0	2.0		1.0	1.0							1.0				今治
	松山市	1.0	.8	.3							.3	.3		-	-	-	松山市
年齢別	中予												2.0				中予
	八幡浜											1.0	1.0				八幡浜
	宇和島													3.0			宇和島
	愛媛県	.7	.5	.3	.1	.1				.2	.2		1.8				愛媛県

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	中 予	八幡浜	宇和島
S T D 定 点	11	1	2	1	4	1	1	1
基 幹 定 点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は6月10日集計分であり、その後の報告は翌月以降に反映されます。

全国 定点把握感染症 2020年 第21、22週 (2020.5.18 ~ 5.31)

(定点当たり報告数)

	1)	小児科定点										眼科定点		基幹定点						
		インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A群溶血性レンサ球	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	4) クラミジア肺炎
21週	愛媛県			.0	.8	1.6	.0		.1	.6		.1		1.0	.2					
	近畿県	香川県		.1	.3	1.9	.0	.0	.0	.7	.0	.0								
		徳島県			.4	1.5	.3	.1		.4					.3					
		高知県			.1	.6	1.4	.0	.4	.1	.4	.0	.1		.3					1.1
	全国	.0	.0	.1	.5	1.1	.1	.1	.0	.4	.0	.0	.0	.1	.0	.0	.0	.1	.0	
	北海道	.0	.0	.1	.6	.3	.1	.0	.0	.2	.0	.0		.0	.0					
	東北	.0	.0	.1	.8	.9	.1	.1	.1	.5	.0	.0	.0	.2		.0	.0	.1		
	関東	.0	.0	.0	.3	.9	.1	.0	.0	.3	.0	.0		.2		.0	.0	.0		
	甲信越北陸	.0	.0	.2	.7	1.2	.1	.0	.1	.3	.0	.1	.0	.0				.1		
	東海	.0	.0	.1	.5	.9	.1	.0	.0	.3	.0	.0		.0		.1	.0	.1		
近畿	.0	.0	.0	.3	1.2	.1	.0	.0	.3	.0	.0		.1		.0	.0	.0	.0		
中国四国	.0	.0	.1	.6	1.6	.1	.1	.1	.5	.0	.0		.2	.0	.0		.1			
九州沖縄	.0	.0	.2	1.1	1.8	.1	.1	.1	.6	.0	.1		.2		.0	.0	.0			

(5.27集計)

22週	愛媛県			.1	1.5	2.1	.1	.0	.1	.8		.1		1.1					
	近畿県	香川県		.2	.1	2.2	.1	.1	.0	.8		.1							
		徳島県	.0		.3	1.6	.3		.0	.5	.0	.0							.3
		高知県		.0	.4	.8	.0	.3	.1	.4	.1								
	全国	.0	.0	.1	.6	1.3	.1	.1	.0	.4	.0	.0	.0	.1	.0	.0	.0	.1	
	北海道	.0	.0	.1	.6	.4	.1	.0	.1	.3	.0	.0		.3				.2	
	東北	.0	.0	.2	.9	1.3	.1	.0	.1	.5	.0	.0		.1				.1	
	関東	.0	.0	.0	.3	1.0	.1	.1	.0	.4	.0	.0	.0	.2	.0	.0	.1	.1	
	甲信越北陸	.0	.0	.1	.8	1.4	.1	.0	.1	.4	.0	.0		.1			.0	.1	
	東海	.0	.0	.1	.6	1.1	.1	.1	.0	.4	.0	.1		.0	.0			.0	
近畿	.0	.0	.0	.4	1.2	.1	.1	.0	.4	.0	.0	.0	.1		.0	.0	.1		
中国四国	.0	.0	.1	.7	1.8	.1	.1	.1	.5	.0	.1		.2				.1		
九州沖縄	.0	.0	.3	1.4	2.2	.2	.1	.1	.7	.1	.0		.1		.0	.0	.0		

(6.3集計)

1) 鳥インフルエンザを除く。

2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。

3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。 4) オウム病を除く。

